

阪神・淡路大震災における 生活の復興と防災のあり方に関する総合的研究

目 次

はじめに

1. 阪神・淡路大震災が提起した住生活上の諸問題	1
-被災地域の公団住宅における調査に基づく-	今井 範子
2. 兵庫県南部地震による北淡町富島と室津における被害の比較	15
	宮野 道雄
3. 罹災家庭の住生活と「住居費」に関する研究	22
-震災復興公営住宅居住者の場合-	関川 千尋
4. コミュニケーション困難層のための住環境管理のあり方	55
	町田 玲子
5. 戸建て居住地におけるコミュニティ形成と防災意識	72
	西村 一朗
6. 阪神大震災の被災生活の問題点とその時間的変化に関する考察	106
	安田武、吉田恭子、山口順子、井尻登喜子、山本泉
7. 災害時救援衣料のパッケージングに関する基礎研究	118
	田村 照子
8. 震災による衣生活の変化とその問題点	123
	中川 早苗
9. 阪神・淡路大震災における食の問題に関する資料集の作成	134
	三好 正満
10. 災害後の公衆栄養対策と学校栄養士の役割	150
	丸谷 宣子
11. 震災と教育問題-「生きる力」を中心に-	161
	朴木佳緒留
12. 福祉・高齢者分野における震災問題	168
	松村 祥子
13. 防災情報システムのあり方	184
	野田 隆
14. 家庭=生活経営学と震災対応の相互扶助システム	203
-阪神淡路大震災の実態・経緯の整理と総括的教訓-	長嶋 俊介
あとがき	230
その他の文献	